

愛媛県デジタル人材育成推進会議令和7年度第1回会議開催結果概要

日時：令和7年7月8日（火）14：00～15：30

場所：愛媛県庁第一別館11階会議室

○議長あいさつ

地域の課題をデジタルトランスフォーメーション（DX）で解決するためには、近未来を見据えた愛媛県の展望として、デジタル人材の育成とその人材が地域で採用され、地域のデジタル人材育成に貢献することを想定した「地育地採」が重要である。そして、その実現に向けて、関係者が現状を把握し、これから何を行うべきかを議論し、より良い愛媛県を築いていくために尽力したい。

○デジタル人材育成・確保に関する県の取組状況等について

（県からデジタル人材の育成・確保に関する取組状況等について資料に沿って説明）

〔構成員〕 「クラウドインターン愛媛」は、県内の若者と地元企業をつなぐ非常に意義ある取り組みである。今回のプロジェクトは委託業者が仲介役となるが、インターン先の対象企業である「地元IT企業」は基本的に愛媛県内の企業であるという理解でよいのか。

〔 県 〕 ご認識通りである。対象企業については県のホームページ等を活用して広報していくことを検討している。

〔構成員〕 学生と企業がマッチングした後、実際のプロジェクト過程において、企業と学生が直接連携する形になるのか、それとも委託業者とも連携するのか。

〔 県 〕 学生と企業だけではプロジェクトがうまく進行しない可能性も考えられる。委託業者が伴走支援を行いサポートする予定で検討している。

〔構成員〕 学生に限らず、将来的にこの取り組みを広げていただけると、さらに素晴らしいと思う。

○県内教育機関におけるデジタル人材育成の状況について

（愛媛大学、松山大学、人間環境大学、新田高等学校、愛媛県高校教育課からデジタル人材育成状況等について資料に沿って説明）

○意見交換（デジタル人材の採用状況、就職状況等）

（企業からは採用状況、就職状況について、教育機関からは学生の就職状況や県内定着について発言いただき、意見交換を実施）

〔構成員〕 地元の中小企業は、首都圏大手企業の優れた労働条件との競争により人材採用に苦戦している。家庭の事情等で県外に出られない学生には地元就職に一定のメリットもあるが、賃金や福利厚生之差が壁となっている。各社が採用活動に工夫を凝らすものの、効果的な解決策は見つかっておらず、苦慮しているのが現状である。

〔構成員〕 中小企業は人材採用に苦戦しているが、地元志向の人材や第二新卒・中途人材の活用、働きやすさや成長を重視した企業理念等の発信によって、企業の魅力を高め人材確保につなげることができるのではないかと考える。自社の強みを活かした戦略が、人材育成と採用の鍵となるのではないかと考える。

〔構成員〕 愛媛県の雇用状況はすぐに改善しないのではないかと考えるため、若者が一度県外に出て経験を積むのは良いことだと考える。愛媛は住みやすく魅力的な県であり、その価値は外に出た人ほど実感する傾向ではないかと思う。県外に出た人が戻ってくることを後押しするとともに、県外出身の学生が愛媛で学び就職する例もあることから、愛媛の魅力を発信することが重要である。

〔構成員〕 愛媛の中小企業では、新卒の若者だけでは即戦力として活躍することが難しい場合もあり、社会人経験者のリスクリングも重要となっている。また、社会人経験者は企業の実情も理解し、デジタル技術を現場に合った形で活かせる潤滑油の役割を果たす。こうした中堅人材が育つことで、次第に若手の採用も進み、全体の人材育成が促進されるのではないかと考える。

〔構成員〕 今日の議論の中で、「デジタル人材」と「DX人材」という言葉が使い分けられているように感じた。情報系等の学部や学科を出れば「デジタル人材」としての資質は十分にあると思う。ただ、「DX人材」となると、大学として何を教えればいいのか、まだ明確ではなく今も議論が続いているが、「課題発見力」と「課題解決力」を養うことが鍵ではないかと考えている。

〔構成員〕 大学側もIT分野だけでなく多様な分野の人材ニーズに応え、県内志向の強い学生をしっかりと育成し、地元就職へつなげたいと考えている。

〔構成員〕 高校から大学にかけて人材育成の取り組みは充実してきているが、育成した人材の受け皿として、県としての具体的な施策を伺いたい。

〔 県 〕 人材の受け皿として、IT企業等のサテライトオフィス誘致に力を入れており、首都圏でのセミナー等を通じて愛媛県の魅力や人材育成の取り組みを積極的にPRしている。今後も企業誘致に注力していく方針である。

〔構成員〕 IT企業の誘致にとどまらず、業種を問わず企業側が必要とするデジタル人材の具体像を明確にし、それに応じた募集を進めていくことも重要ではないか。

〔 県 〕 愛媛県では、新たに「クラウドインターン愛媛」という学生と企業をつなぐインターンシップや、学生向けの課題解決型プログラムを実施している。これ

により、企業と学生を結び、優秀な学生の存在を企業に伝えるなどの地道な取り組みを進めている。また、経営者向けセミナーやリスキリングを含めた多面的な支援も重要と考えている。

〔議 長〕 最近、愛媛県でも特に若い世代を中心にデジタルを学びたいという意欲が高まってきており、地域における人材育成の重要性が一層増していると感じている。学校を卒業後すぐに地元企業へ就職する人もいれば、一度県外に出てから戻る人もいるが、いずれも「愛媛のために働きたい」という強い思いを持っている。だからこそ、地域に根ざしたデジタル人材の育成を、これまで以上に推進していく必要があると考えている。